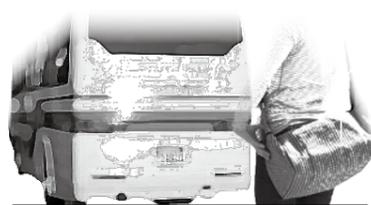
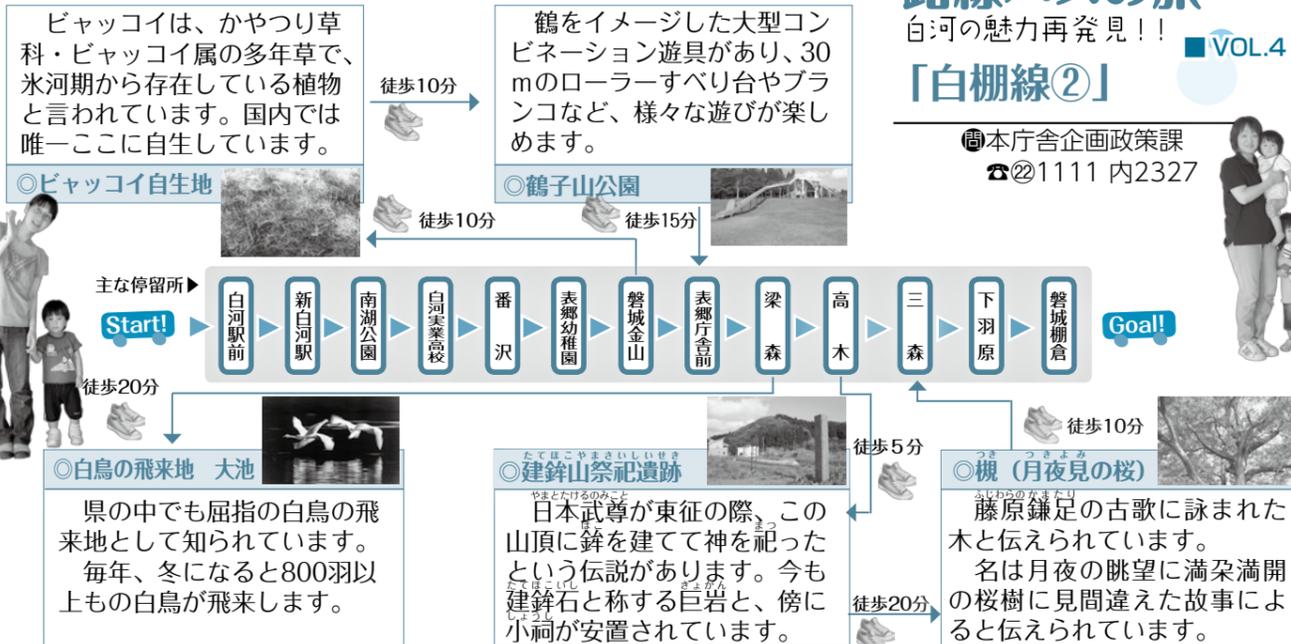


「白棚線」は、大正5年に開業した民営の「白棚鉄道」が前身で、昭和32年にバス専用路線となりました。今でも一部の区間には、バス専用道路が残っている、全国でも珍しい路線です。かつて、鉄道路線であった風情を感じながら、出掛けてみませんか。
 なお、詳しい情報は、市のホームページでご覧いただけます。



路線バスの旅 白河の魅力再発見!! VOL.4 「白棚線②」

本庁舎企画政策課 ☎21111 内2327



ビャッコイは、かやつり草科・ビャッコイ属の多年草で、氷河期から存在している植物とされています。国内では唯一ここに自生しています。



鶴をイメージした大型コンビネーション遊具があり、30mのローラーすべり台やブランコなど、様々な遊びが楽しめます。



県の中でも屈指の白鳥の飛来地として知られています。毎年、冬になると800羽以上の白鳥が飛来します。



夏季の省エネについて

- 夏のエネルギー消費を減らしましょう
 夏は、冷房機器の使用や、行楽地への自家用車使用などで二酸化炭素の排出が増えるため、地球温暖化の大きな要因となる季節でもあります。みんなで省エネに努め、地球にやさしい暮らしを心掛けましょう。
- Let's省エネ
- ◇見直してみよう!
 ●冷蔵庫は壁から適度な間隔をあけて設置しましょう。
 ●電気・ガス・石油機器などを買うときは、省エネルギータイプのものを選びましょう。
 ●部屋の照明を購入するときは、省エネ型の電球型蛍光灯ランプを使用するようにしましょう。
- ◇実践してみよう!
 ●冷房は28℃を目安に設定しましょう。

- 電気製品を長時間使わない場合は、コンセントからプラグを抜きましょう。
 - 冷蔵庫の庫内は季節に合わせて温度調節を行い、物を詰め込みすぎないようにしましょう。
 - 煮物などの下ごしらえは、電子レンジを使いましょう。
 - テレビをつけっぱなしにしたまま、他の用事をしないようにしましょう。
 - シャワーのお湯は使うときだけ出しましょう。
 - お風呂は間隔をおかずに入るようにして、追いだきをしないようにしましょう。
 - 車の運転は経済速度を心がけ、急発進、急加速をしないようにしましょう。
 - タイヤの空気圧は適正に保つように心がけましょう。
 - アイドリングはできる限りしないように気をつけましょう。
- 本庁舎生活環境課 ☎21111 内2167
 各庁舎市民福祉課 表郷 ☎2113 大信 ☎463974 東 ☎2113

中学1年生・高校3年生のみなさんへ、麻しん風しん予防接種はお済みですか？

本庁舎健康増進課 (中央保健センター) ☎2112 / 各庁舎市民福祉課 表郷 ☎2114 大信 ☎462114 東 ☎2116

麻しん風しんの予防には、「麻しん風しん混合ワクチン」の予防接種が必要です。中学1年生または高校3年生に相当する年齢の方で、今年度まだ受けていない方は、早めに接種しましょう!

- ★麻しんや風しんってどんな病気?
 麻しん (はしか) は、熱・せき・鼻水などの症状が出はじめます。数日すると、首すじ、顔から赤い発しんが出て、熱も1週間から10日程度続くことがあります。肺炎や脳炎を引き起こすこともあり、1,000人に1人程度の割合で命を落とすことがあります。
 風しんも、発熱と全身に淡い発しんが出る感染症です。妊娠初期にかかると、おなかの中の赤ちゃんが感染し、心臓の病気になったり、目や耳に障がいを生じたりすることがあります。
- ★予防接種の費用は?
 下記の対象者が平成23年3月31日までに接種すれば無料です。
 少しでも早い免疫の獲得が望まれることから、できるだけ早めに接種してください。
- 対象者
 ▷ 中学1年生に相当する年齢の方 (平成9年4月2日~平成10年4月1日生まれの方)
 ▷ 高校3年生に相当する年齢の方 (平成4年4月2日~平成5年4月1日生まれの方)
 ※対象者には4月に予診票を送付していますので、接種の際は医療機関に必ずご持参ください。(紛失した場合は、中央保健センターまたは各庁舎市民福祉課に母子健康手帳をお持ちになり、予診票の交付を受けてください)

<日本脳炎ワクチン接種勧奨の再開について>

平成22年4月1日以降に3歳となるお子さん (第1期初回接種の標準年齢) に対して積極的な接種勧奨を行っています。3歳児のお子さんでまだ接種していない場合は、積極的に接種しましょう。
 また、東南アジアや東アジアなどに渡航するため、日本脳炎に感染する恐れがある場合、保護者等から接種の希望があった場合は、接種することができます。

★日本脳炎予防接種について

定期接種	第1期	対象年齢	接種間隔	
			初回	2回 (6~28日の間隔をあけて実施)
	第2期	生後6か月以上90か月未満	追加	1回 (初回接種から概ね1年後に実施)
		9歳以上13歳未満	1回 (現在公費での接種はできません。使用するワクチンがありません)	

※対象年齢以外での接種については、接種料金が全額自己負担になります。
 また、定められた接種間隔を外れて接種する場合は、予防接種法に基づかない接種 (任意接種) になり、健康被害を受けた場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済 (予防接種法より救済の対象、額等が異なります) を受けることになります。
 ※新しいワクチンは、第1期の定期予防接種のみ使用可能とされているため、第2期 (9歳以上13歳未満) の定期予防接種に使用可能なワクチンは現在ありません。厚生労働省の方針が決まるまで、接種することはできません。今後、ワクチンの有効性、安全性等を検証し、第2期への接種を検討する予定です。

★日本脳炎について

日本脳炎: 主にコガタアカイエカによって媒介され、日本脳炎ウイルスによって起こるウイルス感染症であり、ヒトに重篤な急性脳炎を起こします。極東から東南アジア・南アジアにかけて広く分布しています。
 感染経路: ヒトからヒトへの感染はなく、ブタの体内で増えて血液中にでてきたウイルスを、蚊が吸血し、その上でヒトを刺したときに感染します。
 潜伏期間: 6日から16日間とされています。
 症状: 数日間の高い発熱 (38~40℃位)、頭痛、おう吐などで発病し、急激に意識障害、神経系障害を生じます。
 治療法: 対症療法が中心となります。
 生命予後: 死亡率は約15%で、幼少時や老人では死亡の危険は大きくなります。精神的、神経的な後遺症は生存者の45%から70%に生じます。